

## 平成 28 年度 第 1 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	平成 28 年 6 月 29 日(金) 13 時 30 分から 14 時 20 分まで
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室
議 題	前回開催時の課題に対する報告、定例報告及び紹介率向上への取組みについて
出席委員	委員長 大垣市医師会長 山川 隆司 副委員長 大垣歯科医師会長 片野 雅文 委員 大垣市医師会理事 沼口 諭 委員 大垣市医師会理事 近藤 潤一郎 委員 大垣歯科医師会副会長 荻下 雅仁 委員 大垣薬剤師会長 松本 正平 委員 大垣女子短大 看護学科教授 伊藤 恒子 委員 大垣市連合婦人会長 竹中 昌子 委員 岐阜県西濃保健所長 稲葉 静代 委員 弁護士 鈴木 一朗
公開区分	公開
傍 聴 人	なし
審議概要	<p><b>1. 委員長及び副委員長の選出について</b></p> <p>「地域医療支援病院に関する委員会設置要綱」の第 4 条第 1 項の規定に基づき、委員の互選によって、委員長には大垣市医師会長の山川 隆司氏、副会長には大垣歯科医師会長の片野 雅文氏が選出された。</p> <p><b>2. 報告事項</b></p> <p><b>(1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②紹介医からの診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。</b></p> <p>①紹介率……27 年 4 月～28 年 3 月:52.5%            28 年 4 月～5 月:63.6%            逆紹介率…27 年 4 月～28 年 3 月:104.3%            28 年 4 月～5 月:128.4%</p> <p>②紹介診察件数…27 年 4 月～28 年 3 月計:10,475 件            28 年 4 月～5 月計:1,836 件            紹介検査件数…27 年 4 月～28 年 3 月計:1,453 件            28 年 4 月～5 月計:201 件</p> <p>③開放型病床登録医数…28 年 5 月末:102 人(医科 87 人、歯科 15 人)、            利用率…27 年 4 月～28 年 3 月:13.6%</p>

28 年 4 月～5 月:13.9%

④救急受診患者数…27 年 4 月～28 年 3 月計:46,829 人(月平均 3,902 人)

28 年 4 月～5 月計:7,071 人(月平均 3,536 人)

救急車利用件数…27 年 4 月～28 年 3 月計:9,598 件(月平均 800 件)

28 年 4 月～5 月計:1,604 件(月平均 802 件)

救急入院患者数…27 年 4 月～28 年 3 月計:2,829 件(月平均 236 件)

28 年 4 月～5 月計:456 件(月平均 228 件)

⑤地域医療従事者に対する研修…27 年 4 月～28 年 3 月開催数:51 回、参加人数計:4,380 人(院外 787 人、院内 3,593 人)

28 年 4 月～5 月開催数:3 回、参加人数計:317 人(院外 50 人、院内 267 人)

＊病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、がん診療委員会、在宅医療研修、西濃薬剤師研究会 等

市民対象の講演会等…27 年 4 月～28 年 3 月開催数:3 回、参加人数計:317 人(院外 267 人、院内 50 人)

28 年 4 月～5 月開催数:2 回、参加人数計:59 人(院外 55 人、院内 4 人)

＊市民公開講座、糖尿病公開講演会、成人気管支喘息教室、出前講座等

⑥地域連携クリニカルパス登録状況…27 年 4 月～28 年 3 月登録総数 1,005 件

28 年 4 月～5 月登録総数 137 件

28 年 5 月末時点パス開始からの登録総数:5,307 件

⑦OMNet 利用状況…28 年 5 月末時点 利用者数:98 人

患者同意者総数:9,614 人

## **(2)委員から、上記の報告について次のとおり意見・質問があった。**

(委員)4 月から 5,400 円の特別初診料となったが、紹介率が 50%から 60%に上がったのはその影響か。

(事務局)4 月以降、紹介状を持参しない患者さんが減少したが、それが 5,400 円の影響という様に捉えている。紹介状を持参する患者さんについては大きな変化は無いが、紹介状を持参されない患者さんが減少したので、全体的な初診患者数が減少し、紹介率が上がっているという状況である。

(委員)紹介状を持参する患者は増えているのか。

(事務局)紹介状を持参しなければいけない、という認識で紹介状を持参する患者さんは増えていると思われる。

(委員)開放病床の利用率が低くなっているのはどのような事情か。

(事務局)開放型病床は、季節によって利用が大きく異なるということがあり、今の時期の利用は多くない。今後は利用が増えると思うが、利用の周知を進めていきたい。

(委員)開放型病床をどのように利用したら良いのか、あまり理解していない新しく開業された若い先生もいるので、ぜひ、ご案内してあげていただきたい。

28 年度は、救急受診患者の月平均が下がっているが、これも 5,400 円の影響なのか。入院患者数は殆ど同じなので、重症者は変わらないと思うが、気軽に紹介状無し

で救急受診に来る方が減ったということか。

(事務局)解釈は難しいが、確かに 5,400 円という金額はとても高いので、それが影響して患者数が減っているということも考えられる。

(委員)本当に救急診療が必要な患者さんのハードルにならないように願います。

(事務局)救急医の印象の範囲で言うとウォークインが減っていると感じる。特に日曜日が 180 人位だったのが、今は 130 人位で、その減少が全て 5,400 円の影響なのかは分からないが、影響は有ると思う。

また、救急も少しレベルアップして、多発外傷とか高エネルギー外傷でお腹がやられた時に、中々ダメージコントロールができなかったが、ようやくそれができるようになり、少しレベルアップしたので報告申し上げる。

(委員)最近、C型肝炎のウイルス除去後、前立腺がん、狭心症などのクリニカルパスなどのアンケートを取り始めたところなので、今後それらが整ってきて加わると思うので、よろしく願いたい。

OMNetをよく利用しているが、バンクするということは無いか。

(事務局)OMNetの同時接続可能本数を昨年度 20 件から 40 件に増加したので、まだ余裕はあるというように考えている。画像についても昨年度、サーバの容量を増加したので、次回の更新時期まで余裕を持って画像データは蓄積可能と思われる。

(委員)OMNetは西濃一円の開業医の先生が、利用できるということでよいか。

(事務局)これまで大垣市内の先生方に優先して利用いただいていたが、今年 1 月に西濃地域の先生方にも、ご利用の案内を発送した。その結果、海津市や揖斐郡の先生方にもご利用いただけるようになった。

(委員)大垣市だけでなく、西濃地域に広がって行けば良いと思う。

(委員)先日、心房細動から脳梗塞、半身まひになられた患者さんがいたので、市民病院の救急に電話したところ、手配のうえ早々に血管内治療していただいて、まひも無く回復された事例があったので報告させていただくとともに、そういう対応・体制を、脳梗塞というものに対して今回のような非常に良い対応を、常にできるような体制であるととても良いと思う。今回はとても素晴らしい結果だったので感謝している。

(委員)中期計画でも、ストロークケアは非常に重要ということでお願いしているところなので、ぜひよろしく願いたい。

(委員)OMNetは普段から利用させていただいて、非常にありがたいと思う。同時接続可能本数が 40 件になったということで、良いシステムなので、開業医の先生方に、なるべくもっとよく使っていただいて、もっと良さを知ってもらいと、より地域医療連携が密になってくるだろうと思う。そういう連携が深まる努力が紹介率・逆紹介率のアップなどに繋がってくると思う。普及の地道な取り組みをよろしく願いたい。

(委員)処方について 6 月上旬から一般名処方にさせていただき、それから検査値まで渡していただいて、とても助かっている。今後は技術的な概要を、例えば薬剤の容量の規格がいくつかある場合に、本数で「何本」と来た場合は必要量が分かりにくいので改善をお願いしたい。また、そういった不備がでてきたらご報告させていただく。

	<p>(委員)研修会・講演会に積極的に取り組んでおられて、回数を重ねておられるので素晴らしいと思う。ただし、良いお話なのに、とても参加者が少ない場合があつて残念だなどと思う部分があるので、啓発資料などがあれば協力させていただくので、ご連絡いただきたい。</p> <p><b>3)紹介率向上への取り組みについて</b></p> <p>よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①28 年 3 月から、検査についても患者さんからの電話による予約申込みを受けられるようにした。27 年度の診察予約申込み件数は 608 件。地域的には大垣市からが 80%以上で、診療科は多い順に皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、形成外科、小児科の順であった。28 年度の 4 月～5 月は、診察が 101 件、検査は 2 件であった。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、27 年度 277 件、月平均は 23 件。28 年度の 5 月までは 49 件、月平均は 24.5 件であった。紹介科は多い順に循環器内科、消化器内科、呼吸器内科であった。</p> <p><b>2. 検討事項等</b></p> <p>(委員)夏休みに受診を予定する患者さんの電話予約は、実際に夏休みの予定が分ってから電話をして予約を取ることができるのか。それとも予約FAX送付後 1 週間以内にすぐ電話して予約を取らなければいけないのか。</p> <p>(事務局)紹介医からのFAXを受信してから 1 週間以内に患者さんから電話がなければ、こちらから患者さんに電話をかけて診療予約日を確認する。その際にまだ予定が分からない方などは、予定が判明し次第、電話をかけていただくよう話している。</p> <p>(委員)認知症の方で、循環器、呼吸器その他にも受診されていて、たくさんの種類の薬が処方されて、とても服薬管理ができない事例があった。そういった場合にかかりつけ医などで管理してもらおうと良いのではないか。</p> <p>(委員)市民病院でもカンファレンスしてもらえれば薬も減らすことができると思う。各診療科が一生懸命やっておられるのは分かるが、このような症例については、相談できるようなシステム、在宅のカンファレンスを開催できるようにしてもらえるとありがたい。</p> <p>(事務局)患者さんは 1 日で複数の科で受診されることがある。それぞれの科で処方した場合、合わせるとたくさんの薬になってしまう場合がある。どこかでまとめられると良いと思う。</p> <p>(委員)多くの科に渡る在宅医療は、薬の整理が必要な患者さんがいらっしゃると思う。患者さんの近隣の薬局に声をかけていただくと、力を発揮できると思う。</p>
次回開催	平成 28 年度第 2 回は平成 28 年 9 月 27 日(火)に開催予定とする。